

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【公開番号】特開2014-151091(P2014-151091A)

【公開日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2013-25039(P2013-25039)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の識別情報による変動表示ゲームの停止結果態様が特別結果態様となった場合に、遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機において、

前記変動表示ゲームに関連して、画像を表示可能な表示装置と、

前記変動表示ゲームを実行させる権利を所定数の範囲内で始動記憶として記憶可能な始動記憶手段と、

前記始動記憶手段に前記始動記憶が記憶されている場合に、該始動記憶を始動記憶表示として前記表示装置に表示する始動記憶表示手段と、

前記始動記憶手段に記憶されている始動記憶を対象として、該対象となる始動記憶に対応する前記変動表示ゲームの停止結果態様を事前に示唆する予告演出を実行可能な予告演出手段と、を備え、

前記始動記憶表示手段は、前記表示装置に所定の演出表示を表示する場合に前記始動記憶表示を非表示とする始動記憶表示非表示手段を備え、

前記予告演出手段は、前記始動記憶表示非表示手段による前記始動記憶表示の非表示中に発生した始動記憶が前記予告演出を実行する特別始動記憶表示態様の場合には、特定の効果音を出力して、発生した当該始動記憶が前記特別始動記憶表示態様であることを報知することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記始動記憶表示非表示手段による前記始動記憶表示の非表示中は、当該始動記憶表示非表示手段による前記始動記憶表示の非表示を実行していない時より、前記始動記憶表示を前記特別始動記憶表示態様とする割合を小さくすることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の代表的な一形態では、複数の識別情報による変動表示ゲームの停止結果態様が特別結果態様となった場合に、遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機において、前記変動表示ゲームに関連して、画像を表示可能な表示装置と、前記変動表示ゲームを実行させる権利を所定数の範囲内で始動記憶として記憶可能な始動記憶手段と、前記始動記憶手段に前記始動記憶が記憶されている場合に、該始動記憶を始動記憶表示として前記表示装置に表示する始動記憶表示手段と、前記始動記憶手段に記憶されている始動記憶を対象として、該対象となる始動記憶に対応する前記変動表示ゲームの停止結果態様を事前に示唆する予告演出を実行可能な予告演出手段と、を備え、前記始動記憶表示手段は、前記表示装置に所定の演出表示を表示する場合に前記始動記憶表示を非表示とする始動記憶表示非表示手段を備え、前記予告演出手段は、前記始動記憶表示非表示手段による前記始動記憶表示の非表示中に発生した始動記憶が前記予告演出を実行する特別始動記憶表示態様の場合には、特定の効果音を出力して、発生した当該始動記憶が前記特別始動記憶表示態様であることを報知することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一形態によれば、保留表示において先読み判定を報知する際に、報知を完了するまでの演出に工夫を凝らし、興趣を高めた遊技性を備えた遊技機を提供することが可能となる。